

925. Teilweise geordneter Modul / 連続性 = 就イテ (訂正)

中野 赤五郎(東大)

此前ノ訂正ニ於テ、連続函数ヲ *Schnitt* = テ擴張スルト任意ノ函数ヲ得ルト書イタガ、數日前 = 河田君カラ $x=0$ = テ / . 他ノ点 = テ 0 + ル函数 = ツイテハ连续函数ノ *Schnitt* ハ出来 + イト注意サレマシタノデ、连续函数ヲ *Schnitt* デ擴張スルト何 = + ルカ考ヘテ見マシタ。兎ニ角连续函数ノ總テハ *separable* デスカラ、*Schnitt* デ擴張シテモ亦 *separable* 従ツテ總テノ函数 = + ラヌコトハ明デス。

$f(x)$ ヲ今连续函数 = ヨル *Schnitt* ヨリ得ル函数トス。即チ $f(x) \leqq \varphi(x)$ + ル连续函数ノ全体ヲ A , $f(x) \geqq \psi(x)$ + ル连续函数ノ全体ヲ B トシタトキ, $(A, B) =$ テ *Schnitt* ヲ得ヌトスル。 $f(x)$ ノ上半连续函数ヲ \bar{f} , 下半连续函数ヲ \underline{f} トスレバ, 明カニ

$$\bar{f}(x) = \text{l. u. b. } \varphi(x) \\ \varphi \in A$$

$$\underline{f}(x) = \text{g. l. b. } \psi(x) \\ \psi \in B$$

然レ (A, B) ハ *Schnitt* + ル = ヨリ $\varphi(x) \geqq \underline{f}(x)$ + ル $\varphi(x)$ ノ A = 屬スル。故ニ

$$\overline{(\underline{f}(x))} = \text{l. u. b. } \varphi(x) = \bar{f}(x) \\ \varphi \in A$$

同様 = $\underline{f}(x) = \underline{(\bar{f}(x))}$

ヲ得ル。此ノ如キ函数ノ *regular function* ト云フコトスル。逆ニ又 *regular function* ノ *Schnitt* ヲ作ルコトモ以上カラ明カデアル。

$g(x)$ ヲ *Baire* ノ *function* トスルト、多クトモ *erste Kategorie* ノ 集合ヲ除イテ $f(x) = g(x) + \text{ル}$ *regular function* $f(x)$ が存在スル。如何トナレバ *erste Kategorie* ノ 集合ヲ除イテ $g(x)$ ノ 連続ナルコトが次ノ如クニシテ証明サレル。 α_n ヲ *rational number* ノ 全体トスレバ、適當ナル *erste Klasse* ノ 集合ヲ除イテ 残リノ 集合 $M = \text{對シテ}$ 、 $f(x) > \alpha_n$ 、 $f(x) < \alpha_n + \text{ル}$ x ノ 集合が $M = \text{テ}$ *open* ナラシメ得ル。然ルトキハ任意ノ 實數 $\alpha = \text{對シ}$ 、 $f(x) > \alpha$ 、 $f(x) < \alpha + \text{ル}$ 集合が 共ニ $M = \text{テ}$ *open* トナル。即チ $f(x)$ ノ $M = \text{テ}$ 連続デアアル。 x_0 ヲ 任意ノ 点トシ

$$\varphi(x_0) = \overline{\lim_{x \rightarrow x_0} f(x)} \quad (x \in M)$$

$$\psi(x_0) = \underline{\lim_{x \rightarrow x_0} f(x)} \quad (x \in M)$$

ト置ケバ、明カニ

$$\bar{\psi}(x) = \varphi(x), \quad \underline{\varphi}(x) = \psi(x)$$

トナル。故ニ $\varphi(x)$ 、 $\psi(x)$ ノ 共ニ *regular* デアル。

点集合 $M = \text{對シ}$ 、其ノ 点ノ ミノ 集合ヲ M^0 、*closure* ヲ M^* ニテ表ハスコトスル。

$$M^{\circ*} = M^*, \quad M^{*\circ} = M^{\circ}$$

ナルが如き集合 M を *regular set* と呼ぶこととする。
 M が *regular* ナルトキ、其の *complement* M' も亦
regular ナル。

$$((M')^{\circ})' = (M^*)', \quad (M')^* = (M^{\circ})'$$

又 $M^{\circ*}$, $M^{*\circ}$ は常ニ *regular* ナル。如何トナレバ、
先ツ $M^{\circ*} \supset M^{*\circ} \ni M^{\circ*} \supset M^{*\circ} \supset M^{\circ}$, 又 $M^{*\circ*} \subset M^*$ ヨリ
 $M^{*\circ*} \subset M^{*\circ}$ ナルヲ以テナリ。 $M^{\circ*}$ も亦同様ナリ。

Baire の函数 $f(x)$ が *regular function* ナル
タメノ必要且ツ充分ナル條件ハ任意ノ實數 $\alpha = \text{對シ}$ 、
 $f(x) \geq \alpha$ ($\leq \alpha$) ナル x ノ集合 M (\bar{M}) = 對シ M° (\bar{M}°)
が *regular* ナルコトナル。先ツ $f(x)$ を *regular*
トスル。

$f(x) \geq \alpha$ ナル x ノ全体ヲ M , $\bar{f}(x) \geq \alpha$ ナル x
ノ全体ヲ H , $\underline{f}(x) \geq \alpha$ ナル x ノ全体ヲ K トスル。

然ルトキハ、先ツ $M^{\circ} = K^{\circ}$ ナル。如何トナレバ
 $f(x) \geq \alpha$ in M° ヨリ $\underline{f}(x) \geq \alpha$ in M° ナリ、從ツテ
 $M^{\circ} \subset K^{\circ}$ 。又 $f(x) \geq \underline{f}(x) \geq \alpha$ in K° ヨリ $K^{\circ} \subset M^{\circ}$ ナ
ルヲ以テナリ。

次ニ $M^* \subset H$ ハ明カナリ。又上ト同様ノ論法ヲ $(\bar{f}(x))$
= $\underline{f}(x)$ ナルニヨリ、 $H^{\circ} = K^{\circ}$ ナル。故ニ $M^{*\circ} \subset K^{\circ} = M^{\circ}$ 。
從ツテ $M^{*\circ} = M^{\circ}$ ナル。

故ニ M° ハ *regular* ナリ。

同様ニシテ $f(x) \leq \alpha$ ナル x ノ全体ヲ \bar{M} トスレバ、 \bar{M}°

が regular となることを証明し得る。

逆 = $f(x)$ が以上 / 如き性質ヲ有スル Baire 1 函数トスル。前 = 述べタルコト = ヨツテ $f(x)$ ハ erste Kategorie 1 集合ヲ除イテ regular function $g(x)$ ト一致スル。 $f(x) \geq \alpha$ ナル x 1 全体ヲ M 。 $g(x) \geq \alpha$ ナル x 1 全体ヲ N トスル。然ルトキハ M^0, N^0 ハ erste Kategorie 1 集合ヲ除イテ一致シ、然カモ共 - regular ナルヲ以テ、 $M^0 = N^0$ ナリ。然ルトキハ、 $\underline{f}(x) > \alpha$ ナル任意 x ハ M^0 = 含まレ、従ツテ $g(x) \geq \alpha$ トナル。故 = $\underline{f}(x) \leq g(x)$ ナリ。同様 = シテ $\underline{f}(x) \geq g(x)$ ナリ得ル。故 = $\underline{f}(x) = g(x)$ ナリ。又 $f(x) \leq \alpha$ 、 $g(x) \leq \alpha$ ナル x 1 集合ヲ考ヘルコト = ヨリ $\bar{f}(x) = \bar{g}(x)$ ナリ得ル。故 = $f(x)$ ハ regular ナリ。

以上 = ヨリ、連続函数ヲ Schmitt = テ擴張スレバ、regular function ナリ得ル。regular function ハ bounded variation ナル function 1 擴張ト考ヘラレルモ、未知何等ソノ性質 = 就イテハ研究セラレテナシイ様デアリ。

Vector lattice \mathcal{M} ナ Schmitt = テ擴張スル = 就イテ lattice 1 条件、 $a \vee b$ 、 $a \wedge b$ 1 存在ヲ假定シタガ、之レハ次 1 条件ヲ置換ヘラレル：

$$\underline{c \geq a, \geq b, d \leq a, \leq b \text{ ナル } c, d \text{ 1 存在}}$$

又、 \mathcal{M} ガ Ring ナルトキハ、Schmitt = テ擴張シタトキモ矢張 11 Ring トナルコトモ此処 = 注意

シテ置ク。